

福岡市地下鉄 長期ビジョン

2025 ▶ 2036

経営理念

私たちは、日常を支える公共交通機関として、
安全・安心を何よりも優先するとともに、
質の高いサービスの提供にチャレンジし続けることで、
お客様と福岡のまちの笑顔と元気を運びます。



地下鉄マスコット
「ちかまる」

安全方針

1. 安全を全てに優先する。
1. 安全に関する規程を遵守する。
1. 誠実、厳正に職務を遂行する。

はじめに

福岡市地下鉄は、1981（昭和56）年7月に室見～天神間で開業して以来、順次、延伸・開業を重ね、1993（平成5）年3月には空港線、箱崎線の全区間が開業しました。

その後、市西南部地域における慢性的な交通渋滞を緩和し、効率的で利便性の高い公共交通体系の確立を図るとともに、均衡あるまちづくりを推進するため、2005（平成17）年2月に七隈線（橋本～天神南間）が開業、2023（令和5）年3月には天神南～博多間が延伸開業したことに伴い、現在では3路線全線で、計31.4km、1日に約50万人以上のお客様が利用する公共交通機関として、市民生活、都市活動に不可欠な都市基盤施設となっています。

福岡市交通局では、地下鉄を取り巻く環境の変化などを踏まえ、経営全般に関する中長期的な計画として、「福岡市地下鉄経営戦略」を2019（平成31）年2月に策定しました。

しかしながら、2020（令和2）年には新型コロナウイルス感染症の影響により、輸送人員、運輸収益ともに大幅に減少するなど、経営環境が一変し、早い段階で計画値との乖離が生じました。

さらに、近年の資源価格高騰等による地下鉄運営コストの上昇、鉄道事業における防犯対策の強化や脱炭素社会の実現等の新たな社会課題への対応などが求められていたことから、将来にわたって安全・安心で快適な輸送サービスを提供し続けていくため、新たな中長期的な経営の基本計画として「福岡市地下鉄長期ビジョン」を策定したものです。

「お客様に満足いただき、そして選ばれる地下鉄」を目指し、職員一丸となって、「お客様満足度100%」に向けて果敢にチャレンジしてまいります。

2025（令和7）年2月

福岡市交通事業管理者 小野田 勝則

目次

第1章 策定の背景と目的

1 背景と目的	02
2 計画期間	03

第2章 福岡市地下鉄を取り巻く環境

1 福岡市の人口動向	06
2 社会情勢の変化	07

第3章 これまでの主な取組み

1 安全・安心の確保	10
2 快適で質の高いサービス	12
3 環境にやさしい地下鉄	16
4 七隈線延伸事業の推進	18
5 福岡のまちと連携した取組み	18
6 収益力の強化	19

第4章 計画期間の取組み

1 基本方針と目標	22
2 目標達成に向けた施策の柱と主要施策	23
(1) 安全・安心	24
(2) 快適で質の高いサービス	26
(3) まちづくり・環境配慮	30
(4) 事業を支える経営基盤	32

第5章 財政計画

長期ビジョンにおける財政計画	37
----------------	----

第6章 進捗管理

P D C A サイクルによるフォローアップ	44
------------------------	----

参考資料	46
------	----